

区民と区長のまちづくり懇談会 会議録 [北部地区]

No.	意見	回答
豊かな人間性をはぐくむ文化の香り高いまち		
1	<p>【2期制について】 他区では3学期制にしているところもある中で、目黒区の小学校で2期制を採用している理由を知りたい。脱ゆとりの流れの中で、ゆとり教育が始まる前よりも教科の数が多くなっている。それにもかかわらず土曜日を開催しないのはなぜか。子どもにしわ寄せがきていて、低学年でも6時間が週2日ある。今は中学受験の子も多く、放課後の予定が塾などで詰まっています友達と遊ぶ姿を見かけない。</p>	<p>まず、子どもたちを評価する時間が取れるということです。3学期はあまり時間がない中で評価しなければなりません。2期制にすることで、しっかり評価の時間をとることができます。</p> <p>また、夏季休業を短縮することができます。そのことで時間の余裕が生まれるため、興津自然学園や八ヶ岳林間学園への自然宿泊体験教室を実施できるなど学習上の効果もあります。</p> <p>目黒区は塾に通うお子さんが大変多く、ご家庭にもよるとは思いますが、土曜日は授業をやらないでほしいという声も多くあります。先生方も平日以外に勉強する時間を持てますし、部活の指導をすることもできます。3学期制をとっている学校は確かに多いですが、目黒では様々な面で教育効果が上がるという結果が出ており、2期制をとっています。</p>
2	<p>【ダイバーシティについて】 地域の中には、外国の方、障害のある方など、いろいろな方がいる。そういう方々が、それぞれ役割を持って暮らしていける地域づくりをぜひお願いしたい。</p>	<p>地域のコミュニティを強化していくことが大切だと考えます。基本構想の改定に当たっても触れていますが、今後も区としてしっかりした理念を持っていく必要があると思います。</p>

No.	意見	回答
ともに支え合い健やかに安心して暮らせるまち		
3	<p>【引きこもり問題について】 目黒区の実態についてはわからないが、高齢の親と壮年の未婚の子どもは、8050問題とも言われる。様々な生活課題を抱えている方もおり、就労支援を含めて今後検討していただきたい。</p>	<p>非常に難しい課題です。引きこもりの原因は精神的な問題や経済的な問題のほか様々な問題が複合している場合もあります。先日の新聞報道では8060問題と表現していましたが、老々介護の問題も含めて、行政としてしっかりと取り組んでいかなければならない課題だと認識しています。</p>
4	<p>【児童虐待事件について】 児童相談所の連絡のまずさということだけに終わらせず、区でも具体的な施策として検討し、地域の中で支えられるような体制づくりをしてほしい。</p>	<p>地元自治体の区長として真摯に受け止めています。 時期は未定ですが、現在東京都が行っている児童相談所の業務は、今後区に移管されます。移管に向けて引き続き子ども家庭支援センターの充実や警察との連携強化などに取り組み、二度とこのようなことが起こらないように努めていきたいと思えます。</p>
5	<p>【児童虐待事件について（関連）】 虐待などの心配について、品川児童相談所ではなく区の子ども家庭支援センターに話してもよいのか。</p>	<p>役割としては、重篤な事案は児童相談所、軽微なものは子ども家庭支援センターが受け持つことになっていますが、事例によってきちんとつながります。ご心配のことがありましたら子ども家庭支援センターにお知らせください。確かに、虐待ではなかったという場合も多くありますが、早期発見が一番大事ですのでよろしく願います。</p>

No.	意見	回答
環境に配慮した安全で快適なまち		
6	<p>【目切坂下の角地について】 目切坂を下りてきたところの角地は事故が多い。西郷山通りはここだけが車が対向できない狭さであり交差点の形も変わっている。現在大学の敷地が工事中であるが、危険防止のため、視界が良くなるように改善してほしい。</p>	<p>大学は平成31年4月に開校予定です。目切坂については、区が整備工事を発注しこれから工事をするところです。また、大学建物は西郷山通りから4メートル程度下がる予定ですので、視界は良くなるものと認識しています。</p>
7	<p>【目黒川の桜について】 何か月か前に桜の枝の剪定をしていたようだが、橋よりも下の方まで枝を伸ばしてそのままになっているところがある。他の地域では大雨の際に折れた枝などが欄干にかかるなどして川が氾濫する事例もあったため、次の雨期になる前に対応してほしい。</p>	<p>下の方の枝は剪定が難しい部分もあります。また、目黒川は都市型河川のため、増水時の枝による橋への影響は少ないと考えますが、河川の全体を管理する東京都と調整のうえ維持管理していきます。</p>
8	<p>【防災士について】 東日本大震災の後、菅刈防災連絡会を立ち上げ、地域のコーディネート役を担いながら地域の皆さんの協力を得て運営している。区の防災課でも防災士取得を支援してもらいようになり、連絡会の中にも防災士の資格を持つ者が増えてきたが、防災士同士の横のつながりが少ない。防災士の連絡会のようなものを立ち上げていただくと、他の地域からの情報も入り、レベルアップにつながるのではないかと考えています。</p>	<p>防災士については、裾野が広がってきています。これまでは、まず資格者を増やすことを考えてきました。来年度は、まだ形としてお示しできませんが、防災士のフォローアップ講座を考えています。連絡会ではありませんが、防災士同士の情報交換をできればと考えています。</p>

No.	意見	回答
9	<p>【落書きについて】 淡島通りのトンネルは一時落書きがひどかったが区に塗り替えてもらい、きれいになった。今気になっているのは、山手通りから国道246号線に上がるところである。落書きは「塗り替えればまた書く」という感じである。区ではどのような対策を考えているか。</p>	<p>落書きは全区的に、発生の連絡をいただいています。落書きについては、個別相談による対応としています。後ほど具体的な場所をお知らせください。</p> <p>また、清掃協力会のご協力で、全区的な調査もしているところです。これに基づいて対策を検討する予定です。</p> <p>※後日、ご指摘の落書きの消去及び再発防止対応について、東京都を通じて国土交通省に申し入れいたしました。</p>
10	<p>【民家の庭木について】 昨年10月ごろ、近くの一方通行を逆走してくる車が多いので、どうしたのかと思っていたところ、一方通行の出口の侵入禁止の交通標識の向きが変わり、見えないようになっていた。そこは道幅が狭いところに、民家の庭木がせり出しているため、通行する車が木をよけて反対側の電信柱にぶつかっている。区にも「自分への連絡はいいから対応してくれ」とお願いしたが、そのままである。標識については交番に話して直してもらったが、先日も車がぶつかって消火栓が壊れていた。近所の人によると、引っ越し業者もその道を避けているとのことだ。区の方で動けるなら、庭木の剪定について交渉してもらいたい。</p>	<p>交通標識は警察の担当ですが、区道上のことであれば、状況を見て指導する必要があると考えます。現場を見て、対応します。</p> <p>※現場調査の結果、庭木が区道にせり出していましたので、土地所有者に対し剪定を依頼しました。引き続き、適切に道路を管理してまいります。</p>
11	<p>【街路灯について】 東山小学校周辺の烏森へ抜けるあたりは、人通りも少なく店舗もないため、非常に暗く、塾や習い事の帰りに子どもを一人で歩かせるのが不安である。街灯はあるのだが木が覆いかぶさって足元が暗くなっている。街灯を増やすなど、もっと明るくしてほしい。</p>	<p>都の条例では、道路も公園も姿・影が見える程度が基準になっています。照度調査をしますので、後ほど具体的な場所をお知らせください。</p> <p>※ご指摘のあった道路の照度を調査した結果、木が覆いかぶさる等、暗い箇所がありました。区の管理する木については一部剪定を行い、敷地から出ている木については管理者に剪定を依頼しました。また、来年度に街路灯の増設も予定しています。</p>

No.	意見	回答
その他		
12	<p>【目黒川桜まつりについて】 目黒川桜まつりの責任者はどなたであると区長は認識しているか。桜まつりについては、長年要望しているが、納得できる回答ではない。なぜ話し合うという方向にならないのか。区議会への陳情も経験したが、ハードルが高いことも分かった。「区民の生活振興課」というような課を作って、区民の声に対し、文書だけのやり取りではなく、区民との話し合いの場を作ってもらいたい。</p>	<p>今日もお話を伺う機会です。話し合いの場を持つことは、難しい面もありますが、拒否はしていません。今後もお話を伺うことはやぶさかではありません。</p> <p>「桜まつり」は目黒川の花見全体のことではなく、合流点遊び場周辺で行われるイベント（今年度は4月8日開催）と認識しています。</p> <p>目黒川の桜は、護岸整備の際に、以前にあった桜を再生したいということで植えられたものです。両側に道路があるため自然発生的に回遊型の花見となり、平成24年ごろから人出が多くなりました。今年の春も昨年より約30万人多い293万人もの花見客が訪れています。区は、関係機関や地元の方々と「目黒川桜まつり等運営協議会」を立ち上げて様々な問題に対応しているところですが、協議会は「お祭り」の運営はしていません。</p> <p>ぼんぼりについては、目黒川の環境改善などの活動を行っている団体が以前から実施していたものです。現在は、上・中流と下流に分かれて2つの団体が実施しています。</p>
13	<p>【目黒川桜まつりについて（関連）】 例えば周辺住民の不動産等に対する事件・事故があった場合の責任はどうなるのか。 これだけの人数を集める要因を作った責任は誰にあるのか。 周辺住民の生活を考え、ぼんぼりや屋台をなくすように区から要請してもらうことはできないか。 また、花見客のごみは、区職員などが片付けてくれているが、本来は事業ごみとして事業者が処理するものに税金が使われていることはいかがかと思う。</p>	<p>事件・事故については起こった事象ごとの個々の判断になると思います。</p> <p>区として集客はしていませんので、近年の花見客の増加はテレビやSNSの影響が大きいと考えます。</p> <p>運営協議会としては現在のところ、ぼんぼりの点灯時間について妥当なものと考えていますが、お話のようなご要望もあり、屋台やごみの問題、夜間の警備などを含めて、いずれも課題として認識していますので、引き続き検討していきます。</p> <p>なお、ごみを区が片付けることに關しては、近隣の方への影響が大きいため一定程度必要であると考えています。</p>

No.	意見	回答
14	<p>【区議会倫理条例について】 目黒区議会には倫理条例がない。区長には資産公開条例がある。区職員には倫理条例がある。素朴な疑問として、区議会にはどうしてないのかと思う。</p>	<p>議員の身分に関することですので、お話については区議会にお伝えします。</p>